営農情報８月号　＜水稲の栽培ポイント＞

１　生育状況

○田植え作業は概ね順調に行われ、その後気温が高く推移したことにより生育は昨年同様平年より進んでいます。

○気象庁の３か月予報（6 月 24 日発表）によると、７月から９月の平均気温は高いと予想されています。気温が高いと水稲の出穂期が早まる可能性があります。草刈りや薬剤散布のタイミングを逃さないように注意しましょう。また、出穂期前後の水管理を丁寧に行い、乳白米や胴割米の発生を抑え、高品質米の栽培に努めましょう。

２　水管理

（１）間断かん水の継続

中干し後、出穂 30 日後まで３日～数日おきにかん水と自然落水を繰り返す間断かん水を行います。葉色が平年よりも薄いほ場や、茎数が不足しているほ場では強い中干しは行わず、追肥まで間断かん水を継続します。ほ場の足跡に水が残るくらいで入水するようにしましょう。出穂期～開花期は最も水を必要とする時期です。出穂前３日程度～出穂後５日程度の間は特に水を切らさないようにしましょう。

（２）出穂後の高温対策

出穂～出穂後 20 日に高温（最高気温 30℃以上）が予想される場合には、胴割米や乳白米等の発生を防ぐため、夕方から夜間のかん水により地温を下げ、根の活力維持を図りましょう。高温時の常時湛水は水温が上がり、根腐れが起こりやすくなります。

（３）出穂後の落水

早期落水は登熟歩合の低下や乳白米、胴割粒の発生を増加させ、収量・品質の低下を招きます。落水は出穂後 30 日～35 日頃を基本としましょう。その後も高温・多照が続く場合は、ほ場条件を考慮し、収穫７～10 日前まで走水を実施しましょう。

３　穂肥の施用

適期の穂肥施用は１穂籾数を増やし、粒の充実を促すなど、収量や品質確保に重要です。葉色が淡く茎数が不足している場合は、下表より２日程度早い追肥を行います。早めの追肥は倒伏を助長することもあります。また、多量施用や遅い施用は玄米中の粗タンパク質含有率を高めて食味を低下させるなどの悪影響を及ぼしますので注意しましょう。

（１）穂肥適期

稲の生育状況に応じて、適期に適正な量を施用しましょう。

ただし、基肥一発肥料（ＢＢあさひの夢専用、とちぎの星専用など）を使用した場合は極端に葉色が淡い場合を除き、原則穂肥の必要はありません。

品種名	穂肥の時期	10ａ当たり施肥量（肥料の例）
とちぎの星	出穂の15日前 （幼穂長20ｍｍ）	窒素成分２～３kg ＮＫ-505号（速効性肥料）：15～20kg ＮＫ-205号（一発穂肥専用肥料）：10～15kg
あさひの夢	出穂の20～18日前 （幼穂長5～8ｍｍ）	
にじのきらめき	出穂の25～20日前 （幼穂長2～5ｍｍ）	窒素成分３kg ＮＫ-505号（速効性肥料）：20kg ＮＫ-205号（一発穂肥専用肥料）：15kg

４　斑点米カメムシ類の防除対策　【重要】

（１）除草

カメムシ類の対策は除草が基本です。水田周辺のイネ科雑草の結実を長期間抑え、カメムシ類の水田への侵入を防ぐため、水稲の出穂２～３週間前と出穂期頃の２回除草を行いましょう。両時期の除草ができない場合は、水稲の出穂期 10 日前までに除草を行いましょう。

※出穂期：一粒でも止葉から籾が出たら出穂とみなし、ほ場の全茎数の 40～50%が出穂した日のことです。

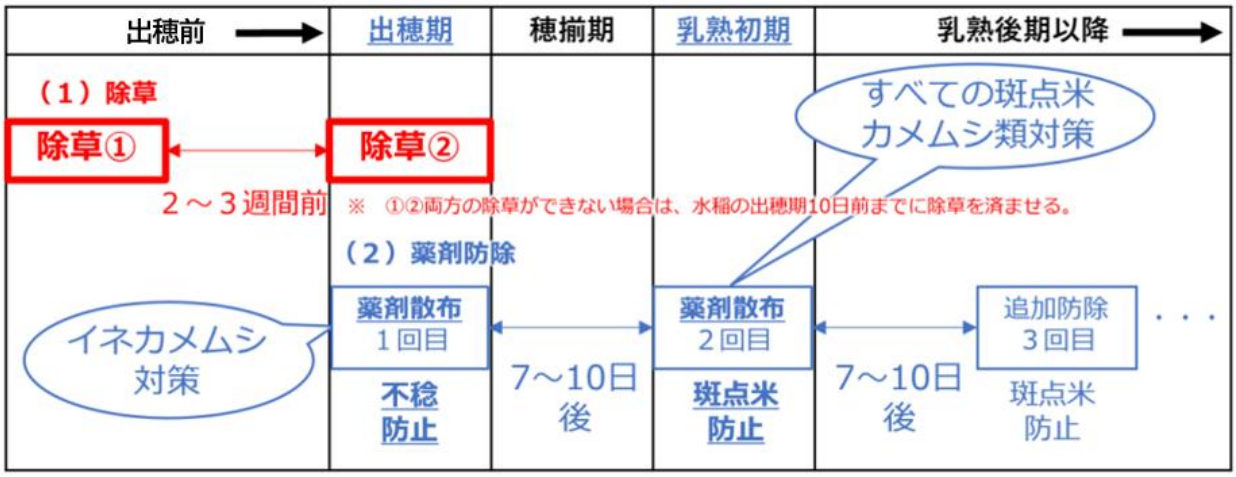
※出穂期前後のみの除草は、カメムシ類を水田へ追い込み、水稲の穂を集中加害させることになるため、原則行わないようにしましょう。

（２）薬剤防除

出穂期頃と、出穂期から７～10 日後の２回、薬剤防除を行いましょう。イネカメムシによる不稔被害を抑制するためには出穂期頃、イネカメムシを含むすべての斑点米カメムシ類による斑点米被害を抑制するためには出穂期から７～10 日後の防除が有効です。液剤は出穂期７～10 日後まで、粒剤は出穂期～出穂期７日後までに散布しましょう（下表）。その後も斑点米カメムシ類が見られる場合は、７～10 日間隔で３回目の防除を行いましょう。

※穂ぞろい期：ほ場の全茎数の 80～90%が出穂した日のことです。

※小型のカメムシ類（イネホソミドリカスミカメ、アカスジカスミカメ）には粒剤や豆つぶ剤の防除効果がありますが、大型のカメムシ類（クモヘリカメムシ、ホソハリカメムシ）は、直接薬剤がかからないと薬剤の効果が十分に発揮されないため、粉剤や液剤で防除を行いましょう。



カメムシ類に登録のある防除農薬の例　　令和７年７月 10 日時点の登録内容

農薬名	希釈倍数、散布量	使用時期	使用方法	使用回数
スタークル豆つぶ	250g/10a	収穫７日前まで	散布	３回以内
トレボンＥＷ	1,000 倍　60～150L/10a	収穫 14 日前まで	散布	３回以内
キラップフロアブル	1,000～2,000 倍　60～200L/10a	収穫 14 日前まで	散布	２回以内
スミチオン乳剤	1,000 倍　60～150L/10a	収穫 21 日前まで	散布	２回以内

農薬はラベルの表示を確認して正しく使用してください。

※イネカメムシの防除対策については営農情報７月号をご確認ください。

◎詳しくは安足農業振興事務所 経営普及部（TEL 0283-23-1431）、ＪＡ足利営農指導員・営農相談係・TAC にご相談下さい。